取扱説明書

ヘッドホンサラウンドアダプター

型名 SU-DH1

AAC

お買い上げありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そしてお読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。

●製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか、お確かめください。

詳しくはこの取扱説明書の中面をご覧ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取扱いについて
ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

0120−2828−17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話　(045) 450−8950
FAX　(045) 450−2275
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

LNT0054-001B

別売の AC アダプターについて

本機専用のACアダプターを別売でご用意しております。
■　型番：AA-D1　オープン価格　　※専用品以外は使用しないでください。

主な仕様

ヘッドホンサラウンドアダプター

再生可能フォーマット：
ドルビーデジタル（ドルビーサラウンドEX）
ドルビープロロジックII
DTS（DTS-ES 6.1ch）
MPEG-2 AAC
PCM（Fs=44.1kHz、48kHz）
サラウンド機能：
ドルビーヘッドホン（DH 1／DH 2／DH 3）
ドルビープロロジックII（AUTO／MOVIE／MUSIC）
入力端子：
光デジタルミニジャック×１
音声入力コード 10cm φ 3.5mm 金メッキステレオミニプラグ付
ヘッドホン出力端子：ステレオミニジャック×１
電源：単３形乾電池２本（DC3.0V）
　専用 AC アダプター（AA-D1）（別売）
電池持続時間： アルカリ乾電池使用で約 10 時間、
　マンガン乾電池使用で約 2.5 時間
最大外形寸法：幅 8.2cm × 高さ 2.6cm × 奥行 8.6cm
質量：99g（付属乾電池含む）

添付物・付属品

保証書×１
取扱説明書×１
サービス窓口案内×１
単３形マンガン乾電池×２（動作確認用）

※本機の仕様および外観は改善のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証とアフターサービス

●保証書は必ずお受け取りください
この商品には、保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について
保証期間は、お買い上げ日より１年間です。保証書の規定に従って、お買い上げ販売店にて修理させていただきます。
その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

●補修用性能部品の保有期間について
当社は、このサラウンドアダプターの補修用性能部品を製造打ち切り後、８年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理を依頼されるときは
「故障かな？と思ったら」の各項目をよくお読みのうえ、再度お調べください。それでも具合の悪いときは、お買い上げ販売店に次のことをお知らせください。

■ビクターヘッドホンサラウンドアダプター
SU-DH1
■お名前とおところ
■電話番号
■故障症状（詳しく）

●アフターサービスについてご不明な点は
ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

主な特長

●映画や音楽など様々なソースを迫力の臨場感で楽しめる「ドルビーヘッドホン」技術搭載。
●ドルビーデジタル／ドルビープロロジックII／DTS／MPEG-2 AACの各サラウンドフォーマットに対応。
●光デジタル入力に加え、アナログ入力（本体に収納可能なコード式）を装備。
●乾電池と別売 AC アダプターの２電源対応。

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号
行為を禁止する記号
行為を指示する記号
警告

■万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない。
・煙が出ている、異臭がする
・内部に水や物が入ったとき
・落下などにより破損したとき
・電源コード（専用 AC アダプター）が傷んだとき
このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。
すぐに電源を「切」にし、必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■乾電池を使用するときのご注意
乾電池の誤った使いかたをしますと、液もれや破裂する危険がありますので次の点にご注意ください。
・乾電池のプラス（＋）とマイナス（－）の向きを表示通り正しく入れてください。
・乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。
・種類の異なる乾電池や新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
※乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。

■表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。
故障、火災・感電の原因になります。

■この機器を分解・改造しない。
故障、火災・感電の原因になります。

注意

■ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ AC アダプターを使用するときは、必ず専用 AC アダプターを使用する。
専用 AC アダプター以外を使用すると、故障・火災・感電の原因となります。

使用上のご注意

■直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になるところに放置すると、変形・変質をまねくため、ご注意ください。
■汚れがひどい場合は、中性洗剤などで拭き取ってください。シンナーやベンジンなどは、絶対に使わないでください。
■標準ジャック（φ 6.3mm）のヘッドホンを接続する場合は、別売のプラグアダプター（AP-233A）をお使いください。

デジタルサラウンドについて

ドルビーヘッドホンについて
ドルビーラボラトリーズが開発したヘッドホンバーチャル技術です。ドルビーデジタルやDTS、MPEG-2 AACなどのマルチチャンネル音声や、ドルビープロロジックIIでデコード処理されたステレオ音声まで、2chステレオヘッドホンでサラウンドシステムの立体音場を体感できます。

ドルビーデジタル[*1]について
ドルビーラボラトリーズが開発したデジタルサラウンド方式の一つです。音質を損なうことなく音声データを圧縮し、DVDの標準音声フォーマットとして採用されています。

ドルビープロロジックII について
ドルビーラボラトリーズが開発した、すべての2chステレオ音声を5.1chサラウンド再生するためのデコード技術です。MOVIEとMUSICの2つのモードがあります。
・プロロジックII MOVIE（MOVIE）：ドルビーサラウンドで記録された音声に適しています。
・プロロジックII MUSIC（MUSIC）：ステレオで記録されたすべての音声に適しています。

DTS[*2]について
デジタル・シアター・システムズ社が開発したデジタルサラウンド方式の一つです。音声圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのあるノイズの少ない再生が可能です。

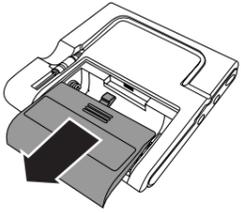
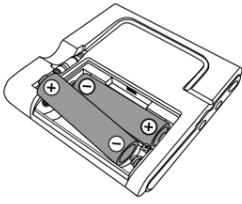
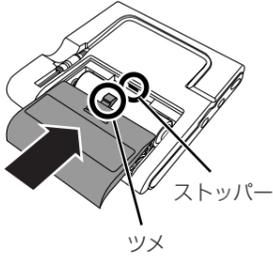
MPEG-2 AACについて
MPEG（Moving Picture Experts Group）が開発した音声圧縮方式の一つで、最大5.1chまで対応しています。高音質・高圧縮率を両立できるのが特徴で、BSデジタル放送や地上デジタル放送で採用されています。

[*1] 本製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic、AACロゴおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
[*2] 本製品はデジタル・シアター・システムズ社からの実施権に基づき製造されています。DTSおよびDTS VIRTUALは、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。

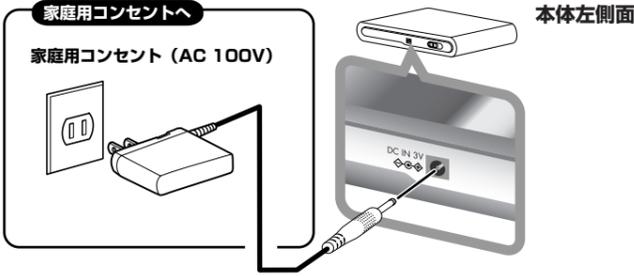
AACパテントマーキング
Pat. 5,848,391; 5,291,557; 5,451,954; 5 400 433; 5,222,189; 5,357,594; 5 752 225; 5,394,473; 5,583,962; 5,274,740; 5,633,981; 5 297 236; 4,914,701; 5,235,671; 07/640,550; 5,579,430; 08/678,666; 98/03037; 97/02875; 97/02874; 98/03036; 5,227,788; 5,285,498; 5,481,614; 5,592,584; 5,781,888; 08/039,478; 08/211,547; 5,703,999; 08/577,046; 08/894,844; 5,299,238; 5,299,239; 5,299,240; 5,197,087; 5,490,170; 5,264,846; 5,268,685; 5,375,189; 5,581,654; 5,548,574; 5,717,821

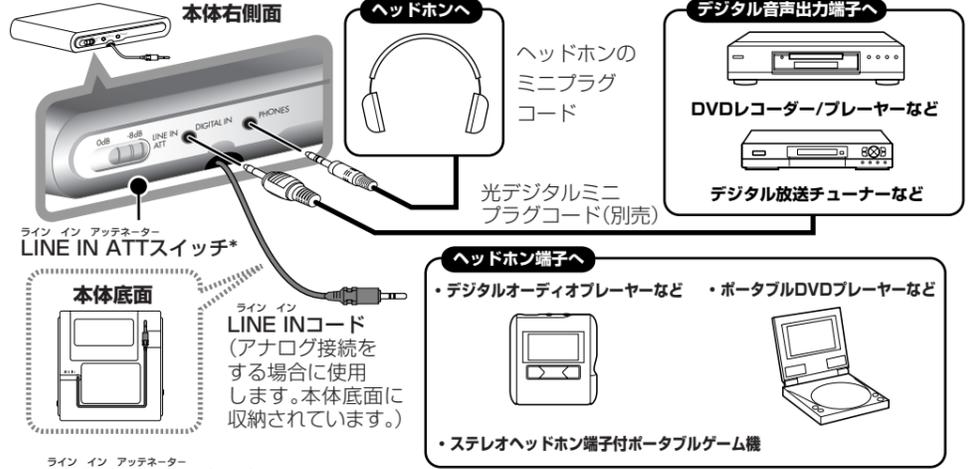
乾電池を入れる・接続する

乾電池を入れる

1. カバーを開ける
矢印の方向へカバーを
スライドさせてください。

2. 乾電池を入れる
乾電池の極性(⊕と⊖)を間違
えないようにしてください。

3. カバーを閉じる
カバーをスライドさせてツメを
ストッパー内部に差し込みます。

●付属の乾電池は動作確認用です。
●マンガン乾電池を使用すると、電池持続時間が短くなります。長時間本機を使用する場合は、アルカリ乾電池を使用してください。
●乾電池が消耗してくると、POWERインジケーターが点滅してお知らせします。そのときは新しい乾電池と交換してください。

ACアダプター(別売)を使用する場合

DC IN 3V端子に別売のACアダプター(AA-D1)を接続します。

●本機専用のACアダプター(AA-D1)以外は使用しないでください。
●ACアダプターを使用する場合は、本機から乾電池を取り外してください。
●長時間本機を使用しない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

基本の接続

* LINE IN ATTスイッチ
LINE INコードで接続した機器からの音量を調節します。通常は「−8dB」にして使用します。
LINE INコードで接続した機器からの音量が小さいときは、「0dB」に切換えてください。

●接続するときは、本機と接続する機器の電源を切ってから行なってください。
●DIGITAL IN端子にコードを接続しているときはデジタル入力が優先されます。
LINE INコードによる入力を使用するときは、DIGITAL IN端子からコードを抜いてお使いください。
●ポータブル機器のステレオヘッドホン端子と本機をLINE INコードで接続している場合、接続機器の音量が小さいとノイズが発生することがあります。音量を上げて使用してください。
●接続機器のデジタル音声出力端子が光角型の場合は、別売の光角型プラグ〜光デジタルミニプラグコード（XN-210SA、XN-220SA、XN-230SAなど）をお使いください。
●LINE INコードを、標準ジャック（φ6.3mm）の端子付きAV機器に接続する場合は、別売のプラグアダプター（AP-113A）をお使いください。
●本機のデジタル入力は、44.1kHzおよび48kHz以外のサンプリング周波数には対応していません。DVDプレーヤー側のデジタル出力に関する設定を48kHzにしてお使いください。本機は、BS放送のAモードやDATのLPモード（サンプリング周波数32kHz）の再生には対応していません。44.1kHzおよび48kHz以外のサンプリング周波数の音源を再生するときは、LINE INコードで入力してください。
●光デジタルで入力しているときは、接続機器のデジタル信号の出力状態によっては再生時の頭出しの音が出ないことがありますが、本機の故障ではありません。
●パソコンからの光デジタル入力のときは、接続する機器によって正しく動作しないことがあります。そのときはLINE INコードで入力してください。
●DTSフォーマットで記録された音源の早送り／早戻し時にノイズが発生することがありますが、本機の故障ではありません。

各部の名称・基本の操作

各部の名称

1 **POWERインジケーター**
電源ON時に点灯します。
2 **デコードモード*インジケーター**
入力されている信号を表示します。
(DD、DD PLII、DTS、MPEG-2 AAC)
3 **POWER(電源)スイッチ**
電源をON／OFFします。
4 **ドルビープロロジックIIモードインジケーター**
選んでいるドルビープロロジックIIのモードを表示します。(AUTO、MOVIE、MUSIC)
5 **ドルビーヘッドホンモードインジケーター**
選んでいるドルビーヘッドホンのモードを表示します。(DH1、DH2、DH3)
6 **DOLBY HEADPHONE(ドルビーヘッドホン)ボタン**
ドルビーヘッドホンのモードを選びます。(右記参照。)
7 **DOLBY PRO LOGIC II(ドルビープロロジックII)ボタン**
ドルビープロロジックIIのモードを選びます。(右記参照。)
8 **VOL(ボリューム)ダイヤル**
音量を調節します。

＊デコードモード
それぞれの音源が持っている、デジタルサラウンドの音声フォーマットに合わせて、音源を再生するモードのことです。

基本の操作

1 本機の電源を入れる

POWER(電源)スイッチをONにします。

・POWERインジケーターが点灯します。

2 接続した機器を再生する

入力された音声信号に対応するデコードモード*インジケーターが、自動的に点灯します。

3 音量を調節する

VOL(ボリューム)ダイヤルを回します。

4 ドルビーヘッドホンとドルビープロロジックIIのモードを選ぶ

DOLBY HEADPHONE(ドルビーヘッドホン)ボタンとDOLBY PRO LOGICII(ドルビープロロジックII)ボタンをくり返し押して、モードを選びます。

ドルビーヘッドホンモードを選ぶ

DOLBY HEADPHONE

DH1 → DH2 → DH3 → OFF → DH1

DH1： ミキシングルームのような残響を抑えた空間を再現します。
DH2： 適度に残響のある一般的なリスニングルームのような空間を再現します。
DH3： 小規模な映画館やコンサートホールのような空間を再現します。
OFF： すべてのインジケーターが消灯し、ステレオ音声になります。
また、ドルビープロロジックIIモードインジケーターもすべて消灯し、何も表示されません。

ドルビープロロジックIIモードを選ぶ

DOLBY PRO LOGIC II

AUTO → MOVIE → MUSIC → OFF → AUTO

AUTO： 入力ソースによって、MOVIEモードかMUSICモードが自動で選ばれます。
・デジタル入力で2chのDVDを再生したときは、MOVIEモードが選ばれます。
・アナログ入力の時は入力ソースに関わらずMOVIEモードが選ばれます。
・デジタル入力でCD・MDを再生したときはMUSICモードが選ばれます。
MOVIE： 映画の再生に適したモードです。またドルビーサラウンドで記録された作品にも適しています。
MUSIC： 音楽の再生に適したモードです。
OFF： すべてのインジケーターが消灯し、何も表示されません。

・AUTOモード選択時はAUTOインジケーターと同時に、MOVIEかMUSICインジケーターが点灯します。
・ドルビープロロジックIIモードは、ドルビーヘッドホンモードがOFFのときは使用できません。
・ドルビープロロジックIIモードは、マルチチャンネルの音声およびDTSの音声には働きません。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら修理に出す前に次の事をお確かめください。

症状	原因	対処
電源が入らない	乾電池が消耗している。	新しい乾電池と交換する。
音が出ない	乾電池が消耗している。	新しい乾電池と交換する。
	接続機器が再生されていない。	接続機器の電源を入れ、再生を始める。
	ヘッドホンの音量が小さい。	ヘッドホンの音量を上げる。
	接続機器の音量が小さい。	接続機器の音量を上げる。
	本機が対応していない音声フォーマットの音源を再生している。	再生中の音源が本機で対応している音声フォーマットかどうか確認する。
	再生中の機器からサラウンド音声が出力されていない。	再生中の機器のデジタル音声出力設定を確認し、サラウンド音声が出力されるように設定する。
アナログ入力の音がひずむ	LINE IN ATTスイッチが「0dB」に設定されている。	LINE IN ATTスイッチを「−8dB」に設定する。
	接続機器の音量が大きい。	接続機器の音量を下げる。

症状	原因	対処
アナログ入力の音が小さい	LINE IN ATTスイッチが「−8dB」に設定されている。	LINE IN ATTスイッチを「0dB」に設定する。
サラウンド効果が得られない	ドルビーヘッドホンモードがOFFになっている。	ドルビーヘッドホンモードをDH1／DH2／DH3にする。
ドルビープロロジックIIモードが働かない	ドルビーヘッドホンモードがOFFになっている。	ドルビーヘッドホンモードをDH1／DH2／DH3にする。
	DTSの音声、およびDolby Digital、MPEG-2 AACのマルチチャンネル音声を再生している。	ドルビープロロジックIIモードは、DTSの音声、およびDolby Digital、MPEG-2 AACのマルチチャンネル音声には働きません。
POWERインジケーターが点滅する	乾電池が消耗している。	新しい乾電池と交換する。